

教職大学院 NEWS

Vol. 19 2019.4月発行

三重大学大学院教育学研究科
教職実践高度化専攻

3期生、入学！

2017年4月に新設された三重大学教職大学院。3年目を迎え、学部新卒者4名、三重県教育委員会から派遣の現職教員9名の計13名が「3期生」として入学しました。昨年度入学の2期生16名とあわせて総勢29名の大学院生とともに学修活動が始まります！



2019/04/11 学修テーマ発表会を開催しました

中核コア科目「地域の教育課題解決演習」の初回となる4月11日（木）、3期生の学修テーマ発表会が開催されました。2期生と3期生合同の取り組みで、運営は2期生の教育実践力開発コース院生（学部新卒学生）によって行われました。持ち時間は1人あたり5分と短いながらも、新入生1人1人が工夫し、自らの関心を端的に表現していました。

教職大学院における研究の特徴の1つは、テーマを学問的・理論的に深めるだけにとどまらず、実際の学校現場で「実践してみる」ことも含んだ上でデザインしていくことです。2年間の「実践的研究」がこれからどのように進んでいくのか、今からとても楽しみです。



【3期生紹介】

教育実践力開発コース（学部新卒学生）

西田 郁也
(小学校志望)

教員としての実践力を高めることと、主体性や意欲などの非認知能力の育成をどのように授業に組み込んでいくかについて深く学ぶために教職大学院に進学しました。これから大学の先生方やたくさんの経験をなさっている現職の方々から様々な知識を吸収し、長期実習でも自発的に動き、自身のスキルを更に高めていきたいです。

西田 有貴
(中学校英語科志望)

私は、学部実習の中で、自分の授業力のなさに気づいたため、もっと実際の現場で授業を見たりしたりするという経験を踏んでから現場に行きたいと思い、大学院に進学しました。多くの現場訪問や、学校経営・学級経営のついての講義、現職の方の経験を聞くことで、様々な知識を吸収して自分なりに生きた知識として実践していきたいです。

西村 和紀
(小学校志望)

大学で行った道徳科についての研究をさらに発展させて、実践を伴った研究を続けて行きたいと思い、入学しました。自分の研究を突き詰めていくことと同時に、同年代の学生や、現職の先生方と学ぶ中で、様々な研究に触れ、自分の教師としての視野や可能性を広げていきたいと思っています。自分を見つめながら、あらゆることを吸収できるよう、がんばります。

前葉 愛理
(高等学校国語科志望)

志望動機：学部で得た教科知識を現場で活かす方略の獲得
学びたいこと：学校（特に授業）における書かれた言葉の活用の現状・より良い実践法です。
情報や多様な（被）教育体験との出会いなど、この院ならではの恩恵を感じる毎日です。これから関わる方全員から能動的に吸収していきたいと思っています。二年間どうぞ宜しくお願い致します。

学校経営力開発コース（現職教員学生）

大井 賢

県立聾学校高等部

教職大学院には様々な校種の現職教員や新鮮な思考を持つ学部新卒者がいます。大学教員の先生方のご指導のもと、このように様々な背景をもつメンバーと共に協働し、幅広く探究に取り組みたいです。また、自身の経験等による教育観を客観的に見直す視点を忘れないようにしたいと考えています。2年間としっかり学び考え、常に問い続けることで理論と実践のスパイラルアップの仕組みを体得します。

尾上 佳代子

多気町立佐奈小学校

「社会に開かれた教育課程」について、「学校が社会を創る」ことを実践から検証し、そのために重要な要素を明らかにしていきたいと考えています。具体的には、図工・美術教育を中心に地域住民や保護者と連携し、価値ある学びを明らかにしていきたいと思っています。これから広がる新しい世界にワクワクドキドキしています。

加藤 大輔

津市立白塚小学校

教職経験も10年が過ぎ、改めて授業づくり・授業改善を通して学力向上や学級経営を学び直したいと思っています。大学院で、様々な経験を積んだ先生方やこれから教育者を目指す学生さんと一緒に勉強できることが、本当に楽しみです。指導教官の先生からもたくさんの事を学び、吸収したいと思っています。

川上 文香

四日市市立中央小学校

教職大学院で「教員の力量形成」や「児童の学力向上」について学習したいと思っています。また、組織としての学校づくりについて考えていきたいです。大学院で出会った方々とのご縁を大切に学びたいと思います。学んだことを学校現場に活かせるよう、自己研鑽に努めます。

川上 美由紀

四日市市立大矢知興譲小学校

市のスタート支援事業担当として、就学前の子どもたちや関係園へ伺うことになりました。また、コーディネーターとして、中学校との連携にもかかわらせていただきました。学校現場の授業や教師自身の子どもたちの見方がよりよいものになるよう、発信できたら、という気持ちで学びたいと思っています。よろしくお願いいたします！

濱口 美佐

津市立一志中学校

私が、教職大学院で学びたいことは、「生徒の学力を向上させるための授業づくりについて」です。「学力向上」これは、授業を行う者にとって核になるものです。この2年間の研修期間を通して、沢山の先生方にご教授いただきながら、これから出会う子ども達の学びを高められるよう、しっかり研修したいと思っています。

藤川 純子

四日市市立笹川小学校

在籍には、多くの外国ルーツの子どもがいます。彼らを取り巻く教育環境は、全国的に見ても、また県内を見ても、十分に整備されているとは言えません。私は、JSL（日本語を第二言語とする）の子どもたちがこの日本で自己実現し、幸せに生きていくために何ができるかを模索しながら学校教育に参画し、すべての子どもの豊かな教育活動につなげたいと考えています。

山本 裕史

県立城山特別支援学校

「児童・生徒一人ひとりの発達の段階や発達の特性に応じたICT機器・教材の活用」について研究を深めたいです。特に、新学習指導要領の「資質・能力の3つの柱」の基礎となる言語コミュニケーション能力の発達に焦点を当て、乳幼児期における支援も視野に入れながら、その発達支援方法を整理していきたいと考えています。

吉岡 竜吾

鈴鹿市立旭が丘小学校

教職大学院では、「授業づくり」を核とした同僚性の構築について学びたいと思っています。現任校は、オープン教室であり、気軽に人が出入りできる環境です。だからこそ、もっと教員間で授業を日常的に公開し合い、互いに授業研究・授業改善ができる環境づくりを目指したいと思っています。現場に戻ったときに、授業改善と一緒に目指していける学年・学校をつくっていただけたらと思っています。

三重大学教職大学院で一緒に学びませんか？

第1回 教職大学院説明会 参加者募集中！



日時

2019年5月18日（土） 14:00～16:00

会場

三重大学 教育学部1号館 4階 大会議室

※「教育学研究科説明会」(13:30受付開始)の中で実施されます。詳細は、研究科ホームページをご確認ください。

参加申込方法

①氏名、②所属 を記入したメールを【info-mkd@edu.mie-u.ac.jp】宛に5月15日（水）までにお送りください。

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）広報担当

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

✉ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教職大学院ウェブサイト <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp>